

天秤

1 上皿天秤

- (1) 水平な台の上に上皿天秤を置き、はかるものを左側の皿にのせる。
- (2) 一番重い分銅を右側の皿にのせ、重すぎたら次に重い分銅にかえる。このとき、次の分銅を置いてから、前の分銅を取り去る。
- (3) 分銅の方が軽くなったら、次に重い分銅を右側の皿に加える。
- (4) 針のふれが左右等しくなって釣り合ったら、分銅の重さの合計を求める。
- (5) 決まった質量の薬品などを量り取る時は、左側に分銅をのせ、右側に薬包紙などをおき、薬さじで少量ずつ試薬をのせ、釣り合わせる。
- (6) 左利きの人は左右を逆にしてもよい。
- (7) 使用後は皿を一方に重ねておく。

2 電子天秤

- (1) 最大秤量値があるので、はかりたいもののおおよその重さにあった天秤を使用する。
- (2) 水平な台の上に天秤を置き、水準器で水平に合わせ、電源スイッチを入れる。
- (3) ゼロ点調整のボタンを押して、ものをのせる前の表示が「0」になるようにする。
- (4) はかりたいものを静かにのせ、表示を読み取る。(最小表示値と最大秤量値を確かめる)
- (5) 決められた重さよりも重いとわかっているものははからない。また、表示がその値を超えるようならば、すぐに測定をやめる。
- (12) 薬包紙や容器を使って薬品等をを量り取る場合には、まず薬包紙や容器をのせ、風袋の値をゼロにして(「re-zero」または「TARE」ボタンを押す)から量り取る。

